

試合番号 : 409		試合会場 : 新日鐵住金堺製鉄所体育館				観客数 : 510				
開始時間 : 12:00		終了時間 : 14:23		試合時間 : 02:23		主審 : 佐々木 伸子		副審 : 北村 友香		
デンソーエアリービーズ		通算 10勝 10敗 ポイント : 29		20 第1セット 25		埼玉上尾メディックス		通算 11勝 9敗 ポイント : 32		
監督コメント	リーグ最終戦ということで順位が決まっているが、今日は全員で勝ちにこうと臨んだ試合でした。若い選手の活躍もあり、フルセットまで持ち込んで粘り強く戦えたのは良かったです。ファイナル8に向けて修正する部分はありませんが、良い準備をして挑みます。本日はたくさんのご声援ありがとうございました。			3	23 第2セット 25		2	今日の試合でレギュラーラウンドが終了し、イースタンカンファレンス2位の成績でした。チームとしては開幕当初と比較すると確実にレベルアップしていると思います。シュシュニヤルの存在が大きいのは事実ですが、山岸のリーダーシップ、セッター井上の成長など直接得点にからまない選手が支えとなっていることがチーム上の成長につながっていると思います。これまでの試合を振り返って課題を整理し、来週からのファイナル8に向けて準備をしたいと思っています。本日も多くのご声援ありがとうございました。		
	25 第3セット 16									
	25 第4セット 21									
	15 第5セット 12									
	すでにファイナル8の進出とイースタンカンファレンスでの順位が確定した中での一戦だが、次週以降の戦いへ弾みをつけたい両チームの戦いは、フルセットにもつれ込む好ゲームとなった。序盤から、アタック、ブロックともに好調のシュシュニヤルの活躍で埼玉上尾メディックスが第1セットを先取した。第2セットに入ると野村、シニアードのブロックなどによりデンソーエアリービーズがリードを保つ展開となったが、終盤に追いついた埼玉上尾が最後は逆転し、このセットも連取した。後がないデンソーは、セッター田原が上手くトスを散らし相手ブロッカーに的を絞らせないようにして攻撃を立て直し、最後はシニアードのブロックで第3セットを奪い返した。第4セットに入り、依然として高い決定率を保つシュシュニヤルにトスを集めた埼玉上尾に対し、粘りを見せるデンソーが接戦を制すると、中元、工藤の活躍で第5セットも連取し、セットカウント0-2からの逆転勝ちを収め、ファイナル8へ勢いをつける1勝をものにした。									
要約レポート										

試合番号 : 410		試合会場 : 新日鐵住金堺製鉄所体育館				観客数 : 730				
開始時間 : 15:20		終了時間 : 17:31		試合時間 : 02:11		主審 : 渡部 菜保子		副審 : 種元 桂子		
JTマーヴェラス		通算 14勝 6敗 ポイント : 44		25 第1セット 18		PFUブルーキャッツ		通算 0勝 20敗 ポイント : 4		
監督コメント	レギュラーラウンド最後の試合に勝利できたことを嬉しく思う。しかし、納得のいく内容ではなかった。スパイクミスや被ブロックなど直接的な失点が多く出てしまい、苦しい展開の時間が長く続くことが多かった。最終第5セット目のようにサーブで攻めて、相手にプレッシャーを与え続けるように常に集中力を維持して戦いたい。ファイナル8に向けて、途中出場選手たちが活躍してくれたことが収穫であった。来週からは負けられない戦いが続くので、レギュラーラウンドの戦いを振り返り、課題を修正し良い準備をして臨みたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。ファイナルラウンドも変わらぬご声援をよろしくお願致します。			3	19 第2セット 25		2	立ち上がりは自分たちの攻撃が上手くいかなかったが、セット毎にサイドの決定力が上がり、リズムに乗ることが出来た。2セット取ることができたが、サーブレシーブの乱れから連続失点してしまい、敗れてしまった。サーブレシーブが乱れた状況でもセカンドボールの質を上げオフェンスを修正していくことが今後の課題。リーグ最終戦、沢山の応援有難うございました。またリーグを通して各地での応援にも感謝いたします。これからチャレンジステージに向け、良い準備をして試合に臨みたいと思いますので引き続き応援よろしくお願いたします。		
	23 第3セット 25									
	25 第4セット 20									
	15 第5セット 8									
	JTマーヴェラスとPFUブルーキャッツのレギュラーラウンド最終戦。第1セット、JTは全員でボールを拾いセッター田中(美)へ繋ぐと、田中(瑞)、ミハイロヴィッチが得点を重ねこのセットを取った。一方、PFUも秋山、チャッチュオンが多彩な攻撃で、追い上げを見せるが及ばなかった。第2セット、JTはミハイロヴィッチ、PFUは清水、江畑の両エースの打ち合いで接戦になる。中盤PFUはドリスのブロックが連続で決まると、勢いに乗りそのままこのセットを取り返した。第3セット、終盤までお互い歩も引かない攻防が続く。PFUはリベロ谷の好レシーブからボールを繋ぐと、ドリスの連続ブロックで抜け出し、このセットを取った。第4セット、このセットも、観客を沸かせる好プレーが続く白熱した展開となった。JTはリリーフサーバーで入った橋本のサービスエースで流れに乗ると、林、ジャスティスのスパイクで得点を重ねこのセットを取り、振り出しに戻した。第5セット、JTは小幡、PFUは谷の両リベロが好レシーブを見せる中、JTはミハイロヴィッチにボールを集め得点を重ね、追いつがるPFUを振り切り、レギュラーラウンド最終戦を勝利で飾った。									
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		-勝 -敗 ポイント :		第1セット		通算		-勝 -敗 ポイント :	
監督コメント					第2セット		監督コメント		
			第3セット						
			第4セット						
			第5セット						
	要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		-勝 -敗 ポイント :		第1セット		通算		-勝 -敗 ポイント :	
監督コメント					第2セット		監督コメント		
			第3セット						
			第4セット						
			第5セット						
	要約レポート								

試合番号 : 786		試合会場 : 浜北総合体育館 (グリーンアリーナ)				観客数 : 386	
開始時間 : 11:00		終了時間 : 13:06		試合時間 : 02:06		主審 : 増岡 三佳子	
副審 : 片井 伴造		群馬銀行グリーンウイングス		通算 14勝 4敗 ポイント : 38		プレステージ・インターナショナルアランマーレ	
通算 10勝 8敗 ポイント : 30		25 第1セット 17		23 第2セット 25		監督コメント	
監督コメント		3 22 第3セット 25		26 第4セット 24		レギュラーラウンド最終戦。ファイナル6につなげるためにもぜひとも勝ちたかったです。第1セットは硬さがあり、自チームのパレーができませんでした。第2セット以降はディフェンスが機能し、江川を中心とした攻撃で打ち返したが、最終セットは相手の高さに押し込まれてしまいました。来週よりファイナル6となりますが、良い結果に結びつくよう準備をしていきます。引き続きご声援の程、宜しくお願いします。	
要約レポート		15 第5セット 8		現在3位で既にファイナル6進出を決めている群馬銀行グリーンウイングスと4位のプレステージ・インターナショナルアランマーレの一戦。第1セット序盤から群馬銀行が鈴木のスパイク、愛宕のサブポイントなどでリードし試合が進む。プレステージも木村の多彩なスパイクなどで応戦するが高さのある群馬銀行に点差を広げられ、最後は鈴木が決められ群馬銀行がこのセットを先取した。第2セット、プレステージが江川、木村、浅川のスパイクでリードし試合が進んでいく。中盤、群馬銀行がメンバーチェンジをし流れを引き戻そうとするが点差が縮まらない。終盤、群馬銀行が鈴木のサブポイント、田中のスパイクで追い上げが最後はプレステージ田村のブロックが決まり、このセットを取りセットカウント1-1にした。第3セット、お互い点を取合い譲らない展開で進んでいく。中盤、プレステージが田村のブロック、木村の緩急のある攻撃で抜け出す。群馬銀行も小林のスパイクで追いつくが、最後はプレステージのスパイクが決まりセットカウント2-1とする。第4セット、序盤リズムに乗ったプレステージが田村のブロック、浅川のサブポイントなどでリードして進んでいく。中盤、群馬銀行が鈴木のブロック、新井のスパイクで追いつき、小林のスパイクでリードしたがプレステージも離れない。お互い粘り強いレシーブでボールを繋ぎ長いラリーが繰り返されデュースになるが最後は群馬銀行、田中のスパイクが決まりセットカウント2-2となりファイナルセットへ。			
試合番号 : 787		試合会場 : 浜北総合体育館 (グリーンアリーナ)				観客数 : 700	
開始時間 : 13:50		終了時間 : 15:03		試合時間 : 01:13		主審 : 木内 誠二	
副審 : 八木 珠希		ブレス浜松		通算 7勝 11敗 ポイント : 21		ヴィクトリーナ姫路	
通算 17勝 1敗 ポイント : 52		15 第1セット 25		19 第2セット 25		監督コメント	
監督コメント		0 16 第3セット 25		レギュラーラウンド最終戦ということでも何とでもベストのパフォーマンスを発揮しようと臨んだ試合でした。所々良いプレーはありました。それを安定的に線としてつないでいくのは今後の課題となります。改善すべき点をしっかり解決して、強いブレス浜松を創っていきたく思います。今日のホームゲームには非常にたくさんの皆様にお越しいただき熱い声援を送っていただきました。大変有難うございました。また今後ともブレス浜松をよろしくお願いたします。		本日のゲーム展開の中で、相手に連続失点を許す場面もありましたが、我慢強く戦う事ができました。レギュラーシーズンの中で色々得るものがありました。ファイナル6に向けて、しっかり調整し良い形で戦えるよう準備していきます。本日も応援ありがとうございます。	
要約レポート		第4セット		現在7位のブレス浜松は何としても勝利したいホームでの最終戦、地元サポーターの大声援を受け首位のヴィクトリーナ姫路との戦いに挑んだ。第1セット序盤から姫路にリードされた浜松は、和田の気迫のこもったアタックやブロックでリズムを掴もうとするがコンビが今ひとつ合わず、姫路に第1セットを先取されてしまった。第2セットは浜松が出たしから連続ブロックなどでリードを保ち8-4でファーストテクニカルタイムアウトを迎えた。姫路は中盤、河合のサービスエース、吉岡のブロックで流れを作り、貞包の力強いスパイク、浅野の味のある攻撃で10連続ポイントを挙げるなどして浜松を振り切りセットを連取した。ホームでの最終戦、一矢を報いたい浜松だったが、地方に勝る姫路が第3セットもとる。首位の姫路は最終戦も危なげ無い展開でセットカウント3-0で勝利し、ファイナル6へ向けて弾みをつけた。			
試合番号 : 788		試合会場 : 浜北総合体育館 (グリーンアリーナ)				観客数 : 900	
開始時間 : 15:40		終了時間 : 17:35		試合時間 : 01:55		主審 : 岩井 好恵	
副審 : 鈴木 健太		トヨタ自動車ヴァルキューレ		通算 3勝 15敗 ポイント : 9		大野石油広島オイラーズ	
通算 9勝 25敗 ポイント : 25		25 第1セット 18		16 第2セット 25		監督コメント	
監督コメント		2 25 第3セット 23		18 第4セット 25		ファイナル6へ大事な試合となり、出足が悪くプレッシャーをはねのけられない展開になりました。攻める気持ちをもう一度全員で確認して臨みました。ファイナル6へ向け、全員でできることを確実に取り組みたいと思います。たくさんのご声援ありがとうございます。	
要約レポート		8 第5セット 15		トヨタ自動車ヴァルキューレと大野石油広島オイラーズの戦い。第1セット、序盤からトヨタ自動車効果が効果的なサブで大野石油のレシーブを乱しリードしていく。メンバーチェンジで何とか相手のリズムを乱したい大野石油だがトヨタ自動車の勢いは止まらずそのまま終盤へと進み、最後はトヨタ自動車・廣田のブロックが決まりセットを先取した。第2セット序盤はトヨタ自動車のサブの勢いが止まらず梅木のサブポイントなどでリードしていくが、中盤、大野石油が北川のブロックで同点に追いつき齊藤のスパイクで逆転。トヨタ自動車も浅野のサブポイント、吉田のスパイクで一時は追いついたが大野石油が機部のブロックなどで逃げ切りセットカウント1-1にする。第3セットは序盤からお互い点を取合い譲らない展開が中盤まで進む。トヨタ自動車は藤原のスパイクで2点リード。大野石油も北川、齊藤のスパイクで追いつけるが、トヨタ自動車・吉田のスパイクが決まりセットカウント2-1とする。第4セット、大野石油が北川のスパイク、馬渡のツアーアタックなどでリードし、その後も齊藤のスパイク、山内のサブポイントで6点差まで広げる。トヨタ自動車も吉田の緩急のあるスパイクで追いついていくが、そのまま大野石油が逃げ切りセットカウント2-2となりファイナルセットへ。第5セットは大野石油がリードして展開されていく。トヨタ自動車も藤原、吉田のアタックで応戦するが最後は大野石油・北川のブロックが決まり、セットカウント3-2で大野石油が勝利した。			
試合番号 : 789		試合会場 : 浜北総合体育館 (グリーンアリーナ)				観客数 : 0	
開始時間 : 18:00		終了時間 : 19:00		試合時間 : 00:00		主審 : 不明	
副審 : 不明		-勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント		第2セット		第3セット		監督コメント	
要約レポート		第4セット		第5セット			

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。